

AEDの取り扱いについて

2011年2月3日 18:00~18:45







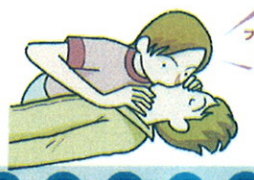

講師：フクダ電子西部北販売株式会社

久留米営業所 坂倉 正吾

場所 リハビリ室

対象：全職員

当院では、『病院全体研修』として年間計画を立て毎月第一木曜日に院内講師あるいは院外講師をまねいて教育活動を行っている。医療機関において重要な課題である医療の安全対策として患者にとって安全で質の高い医療の提供ができるよう年に2回開催している。今回、第2回目となる『AEDの取り扱いについて』というテーマで実技中心に研修が行われた。71名の参加があり、まず、パンフレットに沿って実技見本を行い、3グループに分かれグループごとに実技練習を行った。ハートスタートHS1 使用手順（PHLIPS）全体の流れ（パンフレットに添って）

<p>1. 倒れている人を発見したら...</p>  <p>大丈夫ですか？</p> <p>肩をたたく、声を掛けて意識があるかを確認。</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>	<p>5. 胸骨圧迫</p>  <p>1分間に100回のテンポで胸骨圧迫30回を行います。これを1サイクルとして2分間(5サイクル)実施します。</p> <p>救助者が来るまで30:2(胸骨圧迫:人工呼吸)の組み合わせで救命処置を継続します。</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>
<p>2. 救急車とAEDの手配</p>  <p>119番 お願いします！ AEDを持ってきてください！ 近くにお医者さんはいませんか？</p> <p>大きな声で助けを呼ぶ。 AED(救命装置)を持ってきてもらう。</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>	<p>6. AEDの電源を入れる</p>  <p>AEDが到着したら電源を入れます。(カバーを外すと電源が入るタイプもあります)</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>
<p>3. 呼吸の確認</p>  <p>あごをあげて気道を確保し、呼吸の確認。</p> <p>「見て、聞いて、感じて」これを5~10秒以内で行います。</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>	<p>7. 電極パッドを装着</p>  <p>電極パッドを装着し解析を行います。</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>
<p>4. 人工呼吸</p>  <p>フューッ！ フューッ！</p> <p>呼吸が無ければ、人工呼吸を2回行います。</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>	<p>8. ショック実行</p>  <p>誰も体に触れていないことを確認。通電スイッチを押します。ショックが不要な場合は「ショックは不要です」とメッセージが流れます。必要であれば救急隊が来るまで胸骨圧迫と人工呼吸を続けます。</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>

公共機関以外でも様々所でAEDが設置されている中この研修を受けたことで、今後AEDを使用する機械に遭遇した際は、勇気を持って救命にあたってほしいものです。

リハビリ室長 松本 恵